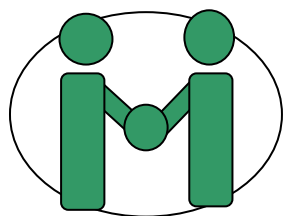


宮



まちづくり協議会だより

川

10月号

令和2年9月30日現在
【世帯数】 247戸
【人口】 男：328名
女：352名
合計：680名

発行日：令和2年10月23日

発行：宮川まちづくり協議会

今月号は白黒印刷です。

カラー版はHPかfacebookページをご覧ください。

みんなで
壁を剥がすよ～！



特集：「美やが和 子ども図書」

いよいよプロジェクト始動！



いいとこ小浜づくり協働推進事業

「美やが和 子ども図書と 歴史アーカイブの館づくり」

昨年度の協議会日より9月号特集は、「どう活かす？みんなの旧宮川小学校」でした。宮川まちづくり協議会（以下、まち協）は、令和元年4月1日付で小浜市との間に「管理委託契約」を結び、それ以後はまち協が主体となって旧小学校の維持管理作業を行っています。

同時に、市内小中学校への備品搬出が落ちついた昨年の秋頃からは、片付いた教室を使って公民館主催学級講座や各種団体の事業を行っています。昨年度は月平均1回、今年度に入ってから、コロナ禍による使用自粛が解除されて以降月平均2回程度の利用があります。その度に教室やトイレなどの清掃をするので、やはり意識的に施設を利用していくことが維持管理面でも大切だと感じています。

▶いいとこ小浜づくり協働推進事業

そんな中、今年度に入ってからまちづくり協議会がフォローする形で宮川地区子ども会が小浜市の助成金を利用して取り組んでいるのが、2階旧和室（図書室）と3階コンピューター室をそれぞれ親子で憩える子ども図書室と宮川地区の歴史・文化を次世代に伝えるための歴史アーカイブの館に改装する取り組みです。「アーカイブ」とは、重要記録を保存・活用し、未来に伝達することで、日本では「保存記録」や「記録保存館」と言い換えます。

2つの柱のうち、まず動き出したのは「子ども図書」。7月下旬に子ども会会長とまち協会長を含む有志メンバーで準備会が開かれ、その後8月下旬にプロジェクト・プランニングメンバーが揃い、大まかなスケジュールが立てられました。この補

助事業は単年度事業なので、今年度中に計画を完了しなければならず、少なくとも年内には図書室の改装を終えるつもりでスケジュールが組まれました。

その後はグループLINE上が会議の場となり、その後の細かな打ち合わせはそこでしています。例えば、作業当日に必要な資材の確認や手伝ってもらえる人の手配、具体的な作業内容の確認や日程調

普段プロジェクトメンバーたちは働いていて忙しく、なかなか夜に会議をするのは難しいから、LINEグループ機能はすごく役に立っ
ね。写真もみんなで共有できるので、視覚的にも便利だね。



The progress of the project 事業の進捗



Let's finish off!!



9月5日

旧国富小学校から蔵書などを譲り受け、旧宮川小学校へ搬入。



9月18日

貰ってきた図書と元からある蔵書を合わせて仕分け、全体量を把握しました。

整などです。

▶「子ども図書」の今後の作業

現在は図書室のペンキ塗りが終わった段階で、この後**備品の配置**へ移ります。積み上げた畳を戻し、本棚を親子や祖父母と孫が憩いやすいような配置を考えて置きます。本棚は以前から使っている温かみのある木製のものを大切に利用します。そして、これが大変なのですが、大量の図書を分類して簡単にデータベース化し、図書室に並べるものといったんしまっておくものを選別します。できれば子どもたちに図書の貸出しをしてあげたいので、データ化は出来る限りしたいと考えています。

これらの作業と同時並行で進めるのが**備品の購入**です。図書室入口すぐの板間を、保護者がゆったりとくつろいだり作業したりできるようなスペースにしたいと考えています。窓側に面してカウンターテーブルとスツールを並べ、子どもの相手もしつつ、眼前に広がる豊かな田園を眺めながら自分の時間も持てるような空間に仕上げる予定です。

▶「歴史アーカイブの館」づくり

今までは子ども図書に手と時間をとられていましたが、これから歴史アーカイブの館づくりにも本腰を入れ

ていきます。使用予定教室のコンピューター室には今はまだPCなどの機材が散乱している状態なので、まずはこれらを片付けなければなりません。その後、宮川地区として次世代に伝えていきたいものは何かという基準で展示収蔵するものを選び分け、見やすく展示したいと思えます。宮川小学校歴代卒業集合写真もしっかりと額に入れ、その他の小学校に関する品々も一緒に宮川小学校117年の歴史に思いを馳せることができる空間に仕上げます。

▶コロナ禍でもできることを…

二つの施設が完成したあかつきには、年明け以降にオープニングセレモニーをする予定です。絵本の読み聞かせなど子ども向け催しの他、楽

しい企画を考えていますので、その時には是非お越しください。

コロナ禍のため、今年度は地区として大きな行事はなかなか実施できていません。みなさんに宮川地区の良さを知ってもらいたいと頑張って企画したウォーキングも、やむなく中止をせざるを得ませんでした。楽しみにしていただきた方々には申し訳ありませんでした。

なかなか難しい状況下ではありますが、まちづくり協議会ではこれからも宮川地区に住んでいるみなさんが「ここに住んでいて良かった」と思えるように、コロナ禍でもできることを考えてやっていきたいと考えています。

来月の 旧宮川小学校 利活用予定表			
11月8日 公民館主催 スティック リング教室	11月14日 子ども会主催 ソイ・ リングづくり	11月15日 旧小学校維持 管理作業 (奉仕作業)	11月22日 いずみの会主催 エクササイズ 教室
11月19日 糸生小学校(越前町) 修学旅行生 教育体験受け入れ		11月26日 まち協主催 防災勉強会(詳細は6P)	



9月27日

子ども会からお父さん・子ども達が大勢参加して、ペンキを塗る前の下準備(備品の搬出と壁はがし)をしました。



10月4日・10日

子ども会のお父さん・子どもたちも一緒に、みんなでペンキにまみれながら仕上げました。



◀(株)若狭の恵精米所前の県道沿いにはコスモスが綺麗に咲いています。

ほかにも、宮川地区でこんなことがありました

9月12日(土) 小浜美郷小学校 体育大会



対コロナ対策で観覧する保護者数を制限し、開催時間も短縮して行われました。けれど児童たちは元気いっぱい、楽しみながら競技していました(館長談)。

9月13日(日) ソイ・ボタニカルキャンドル教室



城口幸子先生を招いて、宮川地区で採れた花をドライフラワーにして、それを蝋燭に閉じ込めました。色とりどりの素敵な作品が出来上がり、参加者からは歓声が上がりました。



写真提供：城口先生 Instagram より

9月16日(水) 加茂区中川さん家のブドウ



中川さんがたくさんブドウをくださったので、保育園と下校してきた児童たちにあげました。みんな、大喜び。

9月29日(火) 菜の花の種まき



来年の春に向けて今年も加茂区 M さんが菜の花の種を野木川沿いの土手と長泉寺前県道沿いに蒔いてくれました。今年咲いた花の種を採るなど、大変手間のかかることをありがたいです。

9月30日(水) 宮川保育園 芋ほり体験



昨年に続き、今年も大谷区の明河宗一さんが畑を提供してくださり、園児たちがコンテナいっぱいのサツマイモを

掘りました。子どもたちにとっていい経験と思い出になったことでしょう。



10月3日(土) 宮川保育園 運動会



雨のため一週間順延して行われました。園児たちは人数が少ないのでほぼフル出場、準備をする役員さんたちの大変さをよそに、終始元気いっぱい、溢れる笑顔に大人たちは元気をもらいました。



10月6日(火) まち協 専任理事会



連載
(全5回)

宮川地区在住の小浜第二中学校第二学年生徒作成

宮川地区新聞



休校中に小浜第二中学校第二学年が「総合」の課題として取り組んだ、
出身地区にまつわる歴史や文化、特色をまとめた新聞を掲載します。

宮川新聞

名前

西村 健介

〈虫送り〉

8月の初めにある宮川小に集まっていたことをたいて、虫を天国に送る行事です。虫送りは小学校一年生から参加することができ、大人まで参加することができます。本番ではとても緊張しますがたまたま終えるところでも達成感を感じることができます。



〈ひまわり、コスモス畑〉

宮川にはひまわり畑もあり、咲いたときはとてもきれいで他の地区の人も来たりします。数が多く、どれもきれいなものばかりです。そこではコスモスも咲き、コスモスもとてもきれいです。みなさんもぜひ、見に来てください。

〈自然〉

宮川は自然豊かで、とても心地がいいところです。みなさんも一度は宮川に来てください。

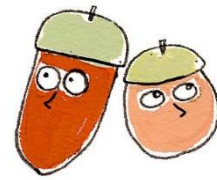
このように宮川は、たくさんのいい行事があり、たくさんの自然を満喫することができます。宮川はとてもいい地区です。ぜひ宮川に足を運んでみてください。





お知らせ

Information



「美やが和
子ども図書」
からのお願い

引き続き要らなくなった

絵本や児童書を募集します

絵本は古いものも合わせると多数あるのですが、特にジュニア文庫や児童小説など中・高学年向けの本が少ないので、先月に引き続きご協力をお願いします。

公民館主催学級

スティックリング教室

11月8日(日) 10:00~11:30

場所／旧宮川小学校 体育館

定員 18名 (小学生は高学年以上)

※ 詳しくは折込チラシをご覧ください。

11月の予定

- 8日(日) スティックリング教室
(10:00~、旧宮川小学校体育館)
- 14日(土) 子ども会 ソイ・リング教室
(15:00~、旧宮川小学校)
- 15日(日) 旧宮川小学校維持管理作業
(9:00~、旧宮川小学校屋内外)
- 22日(日) いずみの会 エクササイズ教室
(10:00~、旧宮川小学校体育館)
- 29日(日) 老人クラブ 奉仕作業
(午前中、宮川公民館)

休館日

- 2日(月)、3日(火・祝)、9日(月)
- 15日(第3日曜)、16日(月)、
- 23日(月・祝)、24(火・振替)、30日(月)
- ※ 土日の開館時間 9:00~17:30

とき

2020年
11月26日(木)
19:00~20:30

ところ

旧宮川小学校
避難所又は
体育館

参加費
無料

「自助・互助・共助」
地域防災力で
命を守りましょう!

締切 11月14日(土)
申込先 宮川公民館まで
☎57-1201

「土砂災害とコロナ禍における避難所」

宮川の防災を
考える

まほろばの里 若狭みやがわ創生事業 防災勉強会

〈講師紹介〉

松森 和人(まつもり かずと)氏
NPO法人 まちの防災研究会代表。
内閣府防災ボランティア検討会委員、福井県消防学校講師、福井県災害ボランティア促進条例策定委員、福井県赤十字救護奉仕団委員長などを経て、現在は福井高専非常勤講師、日本災害情報学会会員、日本地区防災計画学会会員、NPO法人事業継続推進機構会員。

年100回近くの講演を各地で行っている。講義内容も災害事例を多く用いて、誰にも分かりやすく、より具体的に説明するため、ほとんどの講演がロコミによる依頼。今回、畳を新調して整備された旧宮川小学校の避難所を実際に見てもらい、宮川で起こりうる土砂災害とコロナ禍における避難の仕方についてお話をさせていただきます。

編集後記

少し前、小浜市内が騒然としましたね。宮川地区でも、直近の行事が中止になりました。その決定自体は時期的に仕方なかったと思いますが、願わくば、みなさんの心が内向き・閉鎖的になりませんように。「どうせ企画してもまた中止になるんだから…」と諦めに入りませんように。「生とはなにか」「死とはなにか」ということを様々な観点から見つめ直した時、「コロナによる肉体的な死」はもう少し相対化すべきだなと個人的には感じています。宮川地区に暮らしている人々が、毎日の暮らしを穏やかに丁寧に、時にときめきながら送ることが出来るように、来月も対コロナ対策をしながらいくつか企画をしています。あ、calmのお菓子を食べすぎて「メタボン」が現れたので、連日スマホを携えて歩いております。メタボンをやっつけて小浜チケットをgetしたら、これでまたケーキを買うのかしら…。(Y)